



ジェイ・エア、「健康経営優良法人 2018(大企業部門)」に選定

～社員の健康支援で、お客さまへの「最高のサービスの提供」につなげます～

2018年2月20日

ジェイ・エアは、本日、JALグループで初めて(※1)「健康経営優良法人 2018(以下、「ホワイト500」)」に選定されました。

「ホワイト500」とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、経済産業省が認定した、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人であり、2020年までに500社が認定・公表されることとなっています。

健康経営(※2)に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

ジェイ・エアは健康宣言に基づく取り組みを確実に実行し、社員の健康を支えることで「地域に密着し、お客さまの心に寄り添う」サービスの提供をまいります。

(※1)JALグループでは、日本トランスオーシャン航空(株)、(株)ジャルセールスも同時選定されています。

(※2)「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

<ジェイ・エア健康宣言>

私たちジェイ・エアは、「地域と地域を結ぶことでお客さまに喜んでいただける航空ネットワークをご提供する」という事業目的を達成するために、JALグループ企業理念にある「全社員の物心両面の幸福」を追求し、社員が長く安心して働くことのできる会社を実現する基盤となる「心身の健康」が不可欠との認識の下、社員・会社・健保が一体となって健康づくりに取り組みます。

<取り組み>

1. 定期健康診断の受診促進と社員の健康管理・指導を進めます。

- ・健康診断の受診率を100%とします。
- ・健康診断の結果に基づき、産業医や看護師による適切な指導を行います。

2. ワークスタイル変革に取り組み、健康的な職場環境をつくります。

- ・柔軟な働き方に関する制度の設計・運用を継続的に行います。
- ・長時間労働を防止し、社員のワーク・ライフ・バランスを実現します。

3. 健康課題を解決するため、社員参加型の活動を実施します。

- ・メンタルヘルスに関する意識向上のための研修・啓発を実施します。
- ・JALグループのスポーツイベントを通じ、運動習慣につなげます。



以上



(乗務前にストレッチをする客室乗務員)



(JALグループのスポーツイベントに参加する社員)